

外国語科英語学習指導案

学 級： 3 年 3 組 2 9 人
場 所： 3 年 3 組 教 室
指 導 者： 教 諭 前 田 美 香
ALT Brittany Brockman

1 単元名 NEW HORIZON English Course 3, Unit 6 Break the Barrier

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、世界の偉人についてレポートを書くという課題に対して、さくらがジャッキー・ロビンソンを選びその人物像についてレポートをまとめるということを題材としている。黒人初のメジャーリーガーとして、アメリカ大リーグの歴史を塗り替え、アメリカの人種問題に一石を投じたジャッキー・ロビンソンの生き方を学ぶことで自分の生き方や人権問題について考えさせられる内容である。困難に直面したときの言動は、生徒が自分のこととして考えをまとめ、友人と意見を交換する言語活動の内容として適しており、生徒の今後の生き方を考える上で大変意義のある題材である。

言語材料としては、「接触節」、「関係代名詞」が取り上げられている。接触節や関係代名詞を使うことで、生徒が身近な人や身の回りのものについてよりの確に説明することが可能になる。

本単元の題材や言語材料から英語で自分の考えや意見を表現することに興味をもっている生徒たちにとって、コミュニケーションへの興味・関心を高めるのに適した題材であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、英語に苦手意識をもっている生徒が多いが、互いに助け合いながら学習できる雰囲気がある。「話すこと」「聞くこと」に対する生徒の意欲の向上が見られるが、「読むこと」「書くこと」に課題を抱えている生徒が多い。また、一人一人の知識の定着や各技能には個人差があり、英語による表現活動に対して苦手意識を持つ生徒もいる。そのため、表現活動の際には生徒一人一人の必要に応じた指導を行いながら、ペア活動やグループ活動等を積極的に取り入れ、互いに高め合えるような学習形態を工夫するようにしている。

全国学力標準検査の中領域分析によると、「テーマに沿ってスピーチをすること」、「英文を正しく読み取ること」において全国平均を下回っており、まとまりのある英文を読んで理解すること、まとまりのある文を適切な語句や表現を用いて書くことを苦手としていることが分かる。このため、自分の考えを表現する上で基盤となる語彙・文構造の定着を図る手だてとして、下学年で学んだ文法の中から活用度の高い事項を選び、授業の導入にペアで練習する帯活動 Q and A の活動などを行ってきた。学んだことを繰り返し活用する場を設けることで、学んだ語彙や文構造を定着させるよう取り組んできている。本単元の学習においては、帯活動等を通して、ジャッキー・ロビンソンの生き方を参考に、自分の考えや意見を述べるために必要となる基礎的・基本的な表現の定着を図らせたい。

(3) 指導観

題材の特性を生かし、生徒にとってかなり難易度の高い話題ではあるが、「差別に屈せず生きる姿」から考えたこと、学んだことを参考に、日常で生じやすい事象について自分の言葉で述べるができるようになるための学習を展開したい。そのために次の2点を指導の重点と考えた。第1に教科書本文で読んで理解したことについて自分の考えを書いたり、話したりする4技能を統合的に活用する活動の設定である。具体的には、ジャッキー・ロビンソンの生き方や差別的態度に対する言動について、自分の意見を書く際、教科書本文の英文をその材料としてとらえ、選択し表現する活動である。第2に、自分の意見を述べるために必要な基礎的・基本的な語彙や表現方法を身に付けさせる活動の設定である。具体的には、戸惑いなく自分の考えを述べるができるようになるために Expression Training (ET) を設定して、単元を通して段階的に英文を書くことができるようになるよう指導する。単元を通した計

画的な指導を行う中で、学習形態を工夫しながら、自分の意見を英語で適切に表現する練習を重ね、自分の意見を整理し英語でわかりやすく表現する方法を学ばせたい。

単元全般の指導の流れとしては、次のように考える。第1時から第7時までは、新出の文構造や自分の意見を表明する表現形式を定着させるために、教科書を活用して言語の使用場面と言語の働きに注目した表現活動を行わせる。第8時から第10時までは、第1時から第7時までの内容をもとに、身近な話題について賛否やその理由を述べるための表現活動を行わせる。その際、ジャッキー・ロビンソンの生き方を自分の考えに結び付けやすくするよう教科書本文の内容を具体事例で示したり、ALTの体験や日常生活場面に置き換えたりする工夫を行う。

言語活動においては、ICTを効果的に活用し、ペアやグループでの活動を取り入れながら、自分の学習状況について振り返る場面を設定する。このことにより、生徒同士が見通しをもってお互いに関わり合いながら、意見交換等を行うことができる。

3 単元の指導目標

- 間違いを恐れず、積極的に自分の考えや気持ちなど話したり書いたりしようとする態度を育てる。
- ジャッキー・ロビンソンの生き方について自分の考えを表現させる。
- ジャッキー・ロビンソンに関して感想を述べたり、その理由を示したりできるよう内容を理解させる。
- 接触節や関係代名詞の用法を身に付けさせるとともに、自分の考えを述べる表現形式について確認させる。

4 単元の指導計画

(1) 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違いを恐れず、自分の考えや気持ちを簡単な文構造で数多く表現しようとしている。 ② 教科書の本文や辞書、プリントの例文等を用いて表現しようとしている。	① ジャッキー・ロビンソンの言動や日常の出来事等について自分の意見を書くことができる。 ② 伝えたい内容を整理し、まとまりのある英文を話したり書いたりすることができる。	① 教科書の本文を読んで、その内容を正しく読み取ることができる。 ② ジャッキー・ロビンソンの行動について自分の考えを持てるような読みができる。	① 新出の接触節や関係代名詞の形・意味・用法を理解している。 ② 自分の考えを効果的に述べる形式を理解している。

(2) 単元の指導と評価の計画

ET: Expression Training

時間	指導内容	単元の評価規準
1	【目標】 課全体の内容をつかもう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 課全体の新出語句の導入 ・ 課全体の概要把握	エの②
2	【目標】 身近な人や物について説明しよう。Part 1 ・ 帯活動Ⅰ Q and A / 帯活動Ⅱ ET ① ・ 新出語句の復習 ・ 接触節を用いた表現活動	エの①, ②

時間	指導内容	単元の評価規準
3	【目標】 身近な人や物について説明しよう。Part2 ・ 帯活動Ⅰ Q and A /帯活動Ⅱ ET ② ・ 新出語句の復習 ・ 関係代名詞（主格）を用いた表現活動	エの①, ②
4	【目標】 身近な人や物について説明しよう。Part3 ・ 帯活動Ⅰ Q and A /帯活動Ⅱ ET ③ ・ 新出語句の復習 ・ 関係代名詞（目的格）を用いた表現活動	エの①, ②
5	【目標】 教科書の内容から分かったことをまとめよう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A /帯活動Ⅱ ET ④ ・ 新出語句の復習 ・ 内容理解・音読【Starting Out / Dialog】	ウの①, ② エの②
6	【目標】 教科書本文を詳しく読み取ろう ・ 帯活動Ⅰ Q and A /帯活動Ⅱ ET ⑤ ・ 新出語句の復習 ・ 内容理解・音読【Reading for Communication】	ウの①, ② エの②
7	【目標】 ジャッキー・ロビンソンについて分かったことをまとめよう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A /帯活動Ⅱ ET ⑥ ・ 新出語句の復習 ・ 内容理解・音読【Reading for Communication】	ウの①, ② エの②
8	【目標】 Agony Students Brittany 先生の質問に答えよう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 課全体の内容理解 ・ 読み取った内容を用いた自己表現	アの①, ② イの①, ②
9	【目標】 学習したことを振り返ろう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ Agony Students の修正・発表 ・ 確認・まとめ【Review】	イの②
10	【目標】 Unit 6 を通して考えたことをまとめよう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 新出語句, 重要表現の確認・復習 ・ 課全体のまとめテスト	アの① エの① ウの①

5 本時の判断基準の設定（8/10）

評価規準	○ 教科書本文等から読み取った Jackie Robinson の生き方を参考に、これまでに学んだ表現を用いて、ALT の体験に対する自分の考えを 5 文以上の英文で書くことができる。
評価の場面	○ 10 時間構成の第 8 時における終末時
評価の対象	○ 読んだ内容を基にした感想や考えの記述
判断の要素	○ 内容に関する記述 ○ 自分の気持ちや考えに関する記述 ○ 英文の量, 効果的な表現形式

尺度	判断基準
B	<ul style="list-style-type: none"> ○ Jackie Robinson の生き方から学んだことを参考に自分の考えについて述べている。 ○ A L T の体験に対する気持ちや今後の助言等について述べている。 ○ 英文の切り出しや、自分の考えを表す表現形式を有効に使い5文以上の英文で述べている。 <p>【予想される生徒の表現例】</p> <p>Dear Brittany,</p> <p>I'm going to tell you about my idea. If that happened to me, I would cry. I think you should smile to her next time. Jackie Robinson taught us that it's important not to fight back. I want to be kind to everyone.</p> <p style="text-align: right;">Your student, Tomoya</p>
	<p>[判断基準Bに加えて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを整然と述べている。 ○ 既習事項を活用し、多岐にわたる言語材料を使用している。 ○ A L T の心情を察する記述がある。 ○ その他、B状況以上にあると認められるもの。
A	

6 本時の実際 (8/10)

(1) 題材名 Unit 6 Break the Barrier

(2) 学習目標

- 間違ふことを恐れず、自分の考えや気持ちなどを積極的に書こうとする。
- ジャッキー・ロビンソンの生き方を踏まえて、A L T の体験に対する自分の考えを適切な語彙や表現を用いて5文程度で表現することができる。

(3) 研究仮説に沿った授業設計の視点

ア 学習課題の工夫

A L T が実際に体験した不愉快な出来事に対して意見や感想を求められるという状況を設定し、A L T に自分の気持ちやアドバイスを伝えるという学習課題を設定する。

イ 発問の工夫

(ア) 4技能を統合的に活用する表現活動を行うにあたっての発問の工夫

本文の内容を基に、ジャッキー・ロビンソンの生き方から学んだことや自分の感想をA L T へのメッセージに効果的に取り入れられるよう発想を促す発問を行う。

(イ) 文章構成を確認する発問の工夫

判断基準B状況を満たすために、帯活動Q and Aや教科書本文で学習した表現を想起させる発問を行う。

(4) 授業の展開

T 1 : J T E

T 2 : A L T

EY0: Express Your Opinion

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
導入	10分	一斉	1 あいさつをする。	・ 明るい雰囲気です授業を始められるようにする。(T1/T2)	

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
		ペア 一斉	2 帯活動 Q and A に取り組む。 3 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ペアで帯活動 Q and A に取り組ませる。(T1/T2) 前時の学習内容を踏まえながら、目標を提示する。(T1) 	
			目標： EYO Agony Students Jackie Robinson の生き方を参考にして Brittany 先生の体験に対する自分の考えを伝えよう。		
			4 本文に書かれていたことを確認する。 5 聞き取りの視点を示しながら、本日の Topic を聞き取らせる。	<ul style="list-style-type: none"> 本文中に書かれている Jackie Robinson とはどんな人物かについて書かれた表現を確認する。(T1) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Who is Jackie Robinson? Please tell me about him. </div> <ul style="list-style-type: none"> キーワードを確認させ、ALT のスピーチから、本時の課題を把握させる。(T2) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 視点イー(ア) 読み取った内容を生かした表現となるように情報を想起する発問を行う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 視点ア 聞き取りの視点を与えて ALT のスピーチを聞いて本時のテーマを把握させる。 </div>
			If it happens again, what do you think I should do?		
展開	35分	一斉	6 Topic に対する意見の表現のしかたを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を表現する場合はどのような形式で表現するのが効果的かを確認させる。(T1/T2) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Brittany 先生は何について知りたいのですか? </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 説明するためにはどんな表現を使えばよかったですでしょうか? </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 最後はどのような情報で締めくくるといいでしょうか? </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 視点イー(イ) ワークシートを活用し、場面に合った話題の切り出しや、まとめの表現を確認し自分の意見を書かせる。 </div>

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
		グループ	7 A L Tのスピーチに対する自分の意見を整理し, 本文で学習した内容を含めた手紙を完成させる。	・ グループの助け合い学習で意見をまとめさせ, 発表させる。(T1/T2)	
			<p>【モデル文】 Dear Brittany, I'm going to tell you about my idea. If that happened to me, I would cry. I think you should smile to her next time. Jackie Robinson taught us that it's important not to fight back. I want to be kind to everyone.</p> <p style="text-align: right;">Your student, Tomoya</p>		
終末	5分	一斉	8 本時の学習内容を確認する。	・ 本時で学習したことを確認する。(T1)	
			9 次時の学習内容を知る。	・ 本時で学んだ表現や帯活動で学習してきた内容を用いて英文で表現できるように意識付ける。(T1/T2)	
			10 あいさつをする。	・ 元気良くあいさつをさせる。(T1/T2)	

(5) 検証の方法

ア 学習課題の工夫

課題把握の段階で, 生徒が興味を持って自分の学習したことを基に表現しようという意欲が高まったかどうか, 観察及びワークシートで確認する。

イ 発問の工夫

(ア) 本文の内容を基に, ジャッキー・ロビンソンの情報や自分の感想を交えながら A L T へのメッセージを5文以上で表現することができたか, 観察及びワークシートで確認する。

(イ) 帯活動 Q and A や E T (Expression Training) や教科書本文で学習した表現を想起しながら, 判断基準 B 状況の英文で表現することができたかを, ワークシートの記述から確認する。